



ほほえみ 第57号

8月となりました。流石に暑い日が続くようになりましたが、皆様、夏バテなどなく過ごされているでしょうか。こんな暑い日には、冷たい素麺でも食べたいところですが、我が家ではグルテンがどうのということで、なかなか食べさせてもらえません。しょうがないなと思いつつ、早く、涼しくなる季節を心待ちにしています。

免疫療法のパラダイムシフト

免疫療法という、免疫力を上げてがん細胞を攻撃するということを目指していたのですが、今年は特に、この発想からのパラダイムシフト元年となりそうです。従来型の免疫療法を歴史的に見ると、

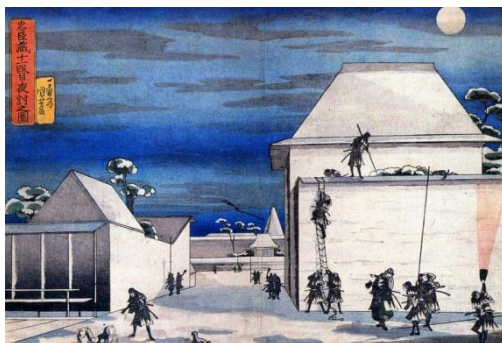
- ① 免疫賦活剤
- ② インターフェロン、インターロイキン
- ③ 養子免疫療法
- ④ 遺伝子免疫療法
- ⑤ 樹状細胞、がんワクチン

といった流れで、研究が進んできたように思いますが、その都度ニュースにはなるものの、なかなか画期的な治療となるまでには至ってなかった印象でした。免疫療法に関しては、近年では悪性黒色腫と腎細胞癌が主たる領域となっていました。分子標的薬が登場してからは、腎細胞癌は分子標的薬での治療が標準的になり、主に悪性黒色腫が免疫療法の領域として残っていました。

しかし、悪性黒色腫の領域での、免疫チェックポイント阻害剤という新しいタイプの分子標的薬が誕生し、有効性を示すデータが集積されたことで、免疫療法の領域にパラダイムシフトが起こりました。現在、悪性黒色腫以外の固形腫瘍に対しても、この系統の薬剤が有効性を示すデータが報告されるようになってきています。今年の、米国癌学会ではこの系統の薬剤の報告が最も関心を集めました。

どのような治療デザインかという、人体の免疫力を上げるのではなく、元々、がんに対して免疫が効きにくくなっているバリアを外す感じです。アクセルをふかすのではなく、ブレーキを戻す感じですね。

詳しくいうと、忠臣蔵では「山」といえば、「川」と答える合言葉ですが、がんに関わる免疫機構では、「PD-1」、「PD-L1」が合言葉になっていて、この合言葉が成り立つと、がん細胞は味方のふりをして、Tリンパ球の攻撃を免れているのです。抗PD-1抗体や、抗PD-L1抗体を投与すると、このシステムが働かなくなり、がん細胞が味方のふりができなくなる、すなわち攻撃されるという訳です(かなり、単純化して書いています)。



「忠臣蔵十一段目夜討之図」 歌川国芳画 Wikipediaより

がん細胞：捕まらなかったぜ。



Tリンパ球：味方だ、通ってよろしい。

ごあいさつ

がん化学療法科 井上 正広

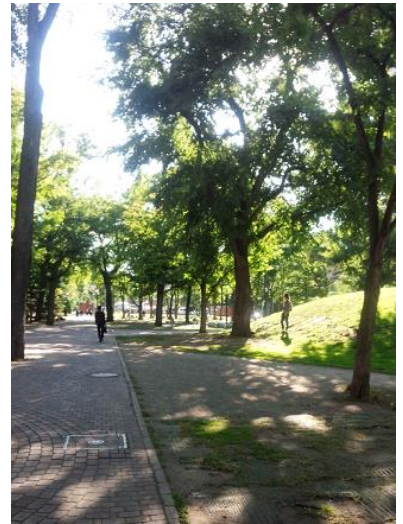
7月よりがん化学療法科に赴任しました井上正広と申します。生まれは兵庫県淡路島で、富山大学卒業後に、東北大学病院腫瘍内科に入局しました。学位取得後は、秋田大学医学部附属病院腫瘍内科へ異動となり、7月よりこちらに異動となりました。昨年に念願のがん薬物療法専門医試験に合格し、今後がん医療に貢献すべく、日々精進を行っていきたくと考えています。まずは院内に慣れることから始めたいと思います。まだまだ、未熟者ではございますが、皆様より多くの御指導を頂ければ幸いです。

第13回 日本臨床腫瘍学会学術集会（札幌）

7月16日から18日に札幌市で、日本臨床腫瘍学会が開催されました。7月の札幌ということで、清々しい気候を予想していたのですが、実は、本格的な夏の状況で、大通り公園のビアホールの準備状況を横目で見ながら、学会会場へ移動していました。

この会でも、今回、ニュースレターで取り上げた、免疫チェックポイント機構に作用する分子標的薬の話題が中心でした。

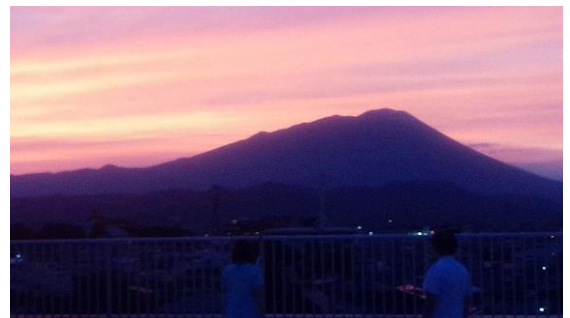
個人的には、膵胆道系腫瘍のポスターセッションの座長をしたのですが、たまたま隣のセッションで、四国がんセンターから佐世保共済病院に移られた、井口先生が座長をされていて、いろいろと学ばせていただきました。段々と年を重ねると、学会で注目されている事実そのものより、幾つになっても研究する姿勢を保たれている先輩方とお話することの方が、学びの点でウエイトが高くなってきている気がします。



暑くて人影まばらな大通り公園

美しい岩手山の夕焼け

先日、さんさ踊りの練習に参加しました。当院の4階の屋上で練習があったのですが、素晴らしい岩手山の夕焼けを見ることができました。屋上の夕方の風を感じながら見る景色は、なんとも言えないですね。練習は、ハードで息が切れませんが、この景色をお伝えしたくて、ニュースレターに載せてみました。



MEMO

8月のがん化学療法科の予定

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 8月3日 | 当院が、さんさ踊りに出場します |
| 8月7日 | 柴田教授外来 |
| 8月21日 | 柴田教授外来 新渡戸稲造記念メディカル・カフェ（予定） |

お盆期間も、通常通り、外来を行います。

